大阪からも米軍基地の再編強化反対の声を

横須賀に配備される米空母ジョージ・ワシントン

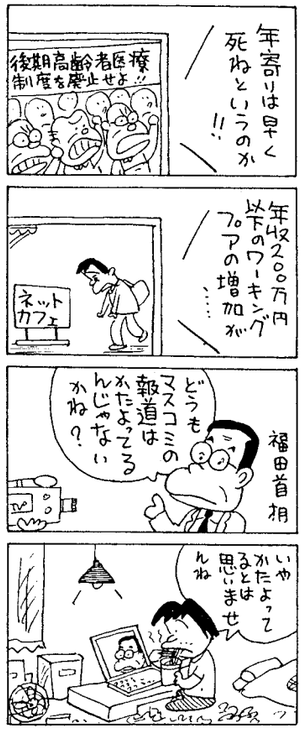
米原子力空母の配備は許しません
「7・13全国大集会in横須賀」

日米軍事同盟のもとで、米軍基地の再編強化が進行しています。横須賀には米原子力空母「ジョージ・ワシントン」が8月19日に配備されようとしています。艦船の事故や米軍兵士の犯罪事件が増加しているなかで、米軍基地撤去の世論が広がっています。こうした中で、最大の焦点となっている横須賀での大集会を成功させようと、いま全国でとりくみがすすんでいます。大阪からも「100人の代表団を」と訴えています。

▶日　　時　7月13日(日)　集会開会13時
▶会　　場　神奈川県横須賀市「ヴェルニー公園」
▶**集合場所＆出発時間**
午前7時50分、新大阪駅「団体待合室」集合
8時13分発「ひかり362号」に乗車します
▶**参 加 費**　2万8000円

ニュース笑アップ

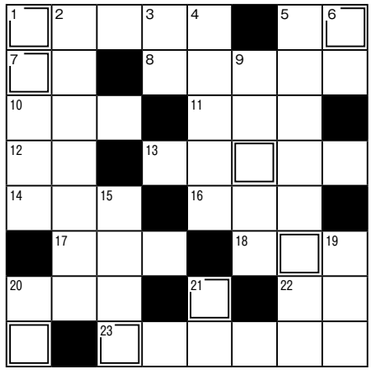
芝岡☆友衛



パズルクロス

(解き方)二重ワクの文字を並べ替えて意味の通る言葉にしてください。

出題者：山本汎昭さん



ヒント：G8ともいいます

タテのカギ

❶茎の絞り汁から蔗糖を製する沖縄の主要産物のひとつ
❷ヨーロッパの伝統の動物。ユニコーン
❸むし歯
❹財政でできるだけ支出を切りつめること。○○○○財政
❺暑中に安否を問うこと
❻およそ。○○10kg
❾年老いた者の敬称。学界の○○○○
⓯←→和室
⓳自分でほめ、人に誇ること。お国○○
⓴蚊帳の○○に置かれる
㉑話の○○を折る

ヨコのカギ

❶孫悟空が活躍する話
❺見える範囲。○○が広がる
❼凹○○。○○レンズ
❽物事のはかどり具合。
❿長良川のは有名
⓫はからい、さばき。適切な○○をとる
⓬日本の代表的な秋の花
⓭古い友達、昔からの友達
⓮容姿の美しい女性。
⓰心配、苦労。○○○人
⓱←→不利
⓲海上の船の通う路。航路
⓴○○○相愛の仲
㉒バーなどの女主人
㉓地方や外国にあって新聞社・放送局等にニュースを送る者

応募の方法
ハガキに「解答」「組合名（職場名）」「氏名」「住所」を書いて、送ってください。また、ハガキの余白に紙面の感想、職場のできごとや近況などをひとこと書き添えていただければうれしいです。解答者の中から5人に図書カードをおくります。「声」は「読者の声」として紙面に掲載させていただくことがありますのでご了承ください。

送付先
〒530－0041大阪市北区天神橋1丁目13－15　大阪グリーン会館4階　大阪自治労連「おおさか自治体の仲間」編集部

応募の締め切り／7月31日
正解と当選者の発表／2008年8月号の紙面に掲載

4月号の解答
「コウキコウレイシャ」

コ	ウ	ツ	ウ	ド	ウ	ト	ク	ロ	ス	ワ	ー	ド
ウ	■	ガ	レ	キ	■	リ	コ	ウ	■	■	■	■
ヤ	セ	イ	■	コ	ウ	コ	ウ	■	■	■	■	■
ク	ン	■	コ	ウ	カ	■	ト	■	■	■	■	■
■	キ	ヤ	ク	■	ツ	エ	■	■	■	■	■	■
シ	ヨ	リ	■	ロ	■	イ	ド	■	■	■	■	■
ツ	ウ	■	ト	ウ	チ	ヨ	ウ	■	■	■	■	■
カ	シ	ヨ	ウ	ヒ	■	ヨ	ウ	カ	■	■	■	■

4月号クイズの正解と当選者
2008年4月号「クロスワードクイズ」の正解は「コウキコウレイシャ（後期高齢者）」でした。各職場から47通の解答をいただきました。つぎの5人のみなさんに図書カードをおくります。敬称を略します。▼浜田覚（大阪市労組）▼中谷恭子（東大阪市職労）▼川畑シノブ（八尾市職労）▼西田史子（堺市職労）▼山田久美子（羽曳野市職労）

新語 十番勝負

改正道路交通法

2008年6月1日から道路交通法が改正されて施行されました。主な改正点は①後部座席のシートベルト義務付け、高速道路での違反は行政処分の1点で、反則金はありません。9月末までは原則指導のみ②75歳以上の高齢者運転者標識の「もみじマーク」の着用義務付け。違反は行政処分の1点、反則金は4000円。1年間は原則指導のみ③聴覚障害者の普通自動車免許が可能に。聴覚障害者の運転する車に黄色の蝶のマークの表示が義務付け。違反は行政処分の1点、反則金は4000円。

観てください ▶ 青年劇場「族譜」公演

「族譜」とは朝鮮・韓国で、一族の代々の当主が、家系図とともにそれぞれの時代のできごとを書き残し、子孫に伝え残していくもの。日中戦争さなかの昭和15年、日本の軍国主義政府は朝鮮民族の人々に「創氏改名」を強いました。しかし、先祖から伝わる「族譜」を大事に、拒む人もいました。梶山季之・原作、ジェームス三木・脚本
○チケットは一般4000円です（大阪自治労連にあります）

▶6月23日(月)　東大阪市民会館　18時45分
▶6月24日(火)　クレオ大阪中央　18時30分

てんびんちゃんが行く

最終回

第1回アルバイト・嘱託保育士しゃべり場を開催

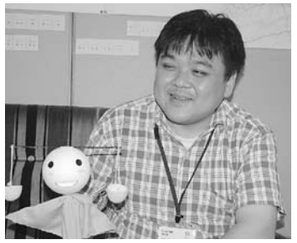
語りあい、学びあい 結びつきを深めて

今号でシリーズの最終回です。この間多くの職場を訪問してきましたが、最後のしめくくりは5月12日に行われた、第1回の「アルバイト・嘱託保育士のしゃべり場」のレポートです。非正規の仲間が集まって自由に語り合うはじめてのとりくみで、30人が参加して交流しました。組合未加入の人も含めて呼びかけたところ、2市から3人の参加がありました。

日中の保育時間帯を正規とほぼ同じ内容で働く、いわゆるアルバイト・嘱託保育士は各市で大きく増え続け、短期の雇用期間を更新し続け、長年にわたって公立保育所を支えているにもかかわらず、民営化攻撃の中で、一層の雇用不安にさらされています。しかし、大半の市では組織化がすすんでおらず、雇用不安や労働条件改善の要求にこたえることができていません。

多様な雇用形態と労働条件の違いを報告しあうだけでも、時間がかかりました。はじめて耳にする話も多く「へー、一時金が正規職員と同じ率ってすごい」「3年働いて、1年あけなアカンの？」「保育会議に出てるの？」など、あちこちで驚きの声があがりました。また、加配としての配置にとどまらずクラス担任をもつ、連絡ノートの記入もする、提出こそしないが、カリキュラムも作成するなど、きわめて専門的な業務を担いながら「均等待遇」とは程遠い実態が浮かび上がりました。さらにこの日は雇用形態別に「半年契約」「1年契約」「正規職員」と3つにわかれ、日ごろの不満など思いを出し合い、最後に「こういう集まりを地域でもとう！」と呼びかけ、終了しました。今後、他の地域での「しゃべり場」が予定されています。

「おおさか自治体の仲間」では、2007年6月号からちょうど1年間にわたって、「てんびんちゃんがいく」シリーズを掲載し、均等待遇キャンペーンを進めてきました。大阪自治労連・関連評議会では、引き続き、「仕事の中身が同じなら、権利もお金もみな同じ」のキャッチコピーを掲げて、均等待遇をもとめてとりくみをすすめていきます。



「てんびんちゃん」が訪問した職場の一部です。上から、石切保育所、貝塚市郷土資料室、堺市の学童保育の職場のみなさん、ありがとうございました

新語 十番勝負

洞爺湖サミット

今年の7月7日から9日まで、北海道の洞爺湖町を主会場に開催される、日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ、ロシアの8カ国首脳、及びEUの委員長が参加する首脳会議。G8サミットは毎年開催され、経済・社会問題を中心に国際社会が直面する様々な課題について、首脳が一つのテーブルを囲みながら、非公式かつ自由闊達な意見交換を通じてコンセンサスを形成し、その成果が宣言としてまとめられます。サミットを開催する国がその1年間サミット議長国となり、日本は5回目です。